

防火防犯部
部長 小松 貴聡

<緑園一丁目の防災対策>

昨今関心の高まる防災対策について、「自治会活動」という視点より小松部長より紹介いただきます。

- 1: [防災組織]** 防災体制については行政では「国一神奈川県横浜市一泉区」という行政組織体制があり、例えば消防とは地域防災訓練などで協力しています。泉区でも防災や災害時対策の各種事業がありますが、主要事業の一つとして災害時要援護者支援事業に取り組んでいます。自治会組織は泉区では14の連合組織に分かれていて、一丁目の属する緑園連合でも本年度は災害時要援護者支援事業に取り組んでいます。要援護者と支援者を募って日ごろから災害時に備える活動で、一丁目でもこれから皆さんの意向を伺って進め方を検討していきます。一丁目の体制としては街の防災組織があり、自治会長を本部長として、副会長と防火防犯部長を副本部長とし、役員班長さんを中心とした組織となっています。防災訓練、防犯パトロールなど実際の活動時にもこのメンバーが中心となりますが、住民全員参加をお願いします。
- 2: [防災備品]** 稲荷谷公園には防災倉庫を設置し、防火防犯部が中心となり防災備品の管理をしています。発電機や燃料、灯光機、消火器、救急箱などリストしてメンテナンスしています。皆さんも防災訓練や毎月の公園掃除の際などに一度はどんなものがあるか見てください。また毎年新しい班長さんには、避難時に使うヘルメットを配布しています。
- 3: [防災活動]** 防災訓練は毎年行っています。一丁目の防災訓練は、いっとき避難所の稲荷谷公園で消防署の方に来て頂いて消火器や担架の使い方を実際に体験できます。広域避難所は緑園西小学校でここには災害時用の水や乾パン、毛布なども備わっています。年に一度、西小学校でも避難訓練が行われ、こちらでは炊き出しなど、さらに多くの災害準備体験が出来ます。行政での防災、地域防災、共にまだまだ充分とはいえません。皆さん全員参加でより良い防災対策にしていきたいと思いますので、今後ともご協力宜しくお願いします。



一丁目委嘱委員の紹介

青少年指導委員

青少年指導員は、青少年の自主的活動などの支援を通して、青少年が地域のなかで健やかに育つことを願って活動しています。緑園地区では、学生ボランティアを募集し、応募した学生と一緒に地域の行事に参加します。そこで、地域の人とのふれあいやいろいろな体験をしていきたいと思います。

奥津正



3R活動推進委員

「3R」って何？
「G(ジー)30(ごみ30%削減)プラン」を引き継ぐ取り組みとして、横浜市では「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」という計画を進めています。3Rとは、リデュース(ごみそのものを減らす) リユース(何回も繰り返し使う) リサイクル(分別して再び資源として利用する)のごみ減量のキーワードです。この計画で私たち一人ひとりが分別ルールを守り、さらなるごみの減量と脱温暖化を図り、将来に「夢(M)」をもつことができる快適なまちの実現を目指しましょう。

横尾四



環境事業推進委員

横浜市の処理するゴミの量は、161万トン(平成13年)から、93万トン(平成21年)になりました。平成22年からは、ヨコハマ3R夢プラン(Reduce, Reuse, Recycle)がスタートし、平成37年までに、平成21年のゴミ(93万トン)と資源ゴミ(35万トン)の10%削減が目標となっています。ゴミを出さない減らす・リサイクルするを徹底して推進するために、皆さん各ご家庭のご協力をお願いいたします。

鎌田等

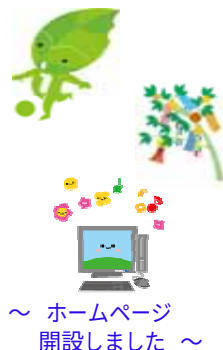


クリーン&グリーンサポーター募集

班長さんが役員に声を掛けてね！

公園清掃・クリーン&グリーンアクション

一丁目自治会では、毎月第二日曜の8時から、稲荷谷公園と付近の道路街路樹の草刈り及び、自治会館の清掃を行っています。毎回、参加者は40名程度ですが、作業終了後には飲料も用意され憩いの場にもなっていますので皆さんもご参加ください。事前申込みや登録は不要です。お子様の参加も大歓迎です！また、先月には、自治会環境部による第1回目の蚊の駆除剤を排水溝に散布しました。排水溝に丸いシールが貼ってあります。第2回は梅雨明けに行う予定です。(富塚)



～ ホームページ開設しました ～

緑園都市コミュニティ協会(RCA)と自治会について

緑園都市コミュニティ協会 理事長 上島 義博



1987年4月にRCAが発足して今年で25年になりました。緑園都市にはRCAと自治会が併設しています。RCAは、まちづくりを担当し、自治会は行政との窓口を担当すると言う、明確な役割分担をしています。住民は自治会員であり、又RCA会員でもあり、お互いにその組織を有効に利用しています。美しい街並みの景観を保ち、人々が快適な暮らしができるという都市計画の思想「アーバンデザイン」に基づいてあります。RCA活動は緑化推進活動で街の花壇の管理の支援、花の頒布会、園芸用品の貸出等。まちづくり・環境整備活動では、ガイドラインをベースにした良好な住環境の維持活動を始めとし、RCAの車両を防犯パトロール協議会に提供して、青パトを行っています。近年の重点活動は教育環境整備で、中学校建設問題、レゴロボット講座(3年連続世界大会に出場)。今年度は特に少子化に対応して子育て支援を発足しました。また、安全な街をめざし防犯カメラの設置を推進します。「緑園バス運行推進協議会」ではバス路線の検討等。上記のよう緑園全体に係る問題にRCAは対応してまいります。他にも国際交流活動、広報活動で「RCAだより」年4回全戸配布、緑えんネット及びRCAコーナーの運営、緑園クラブハウス・自治会館運営委員会に参加しています。



一丁目の達人シリーズ

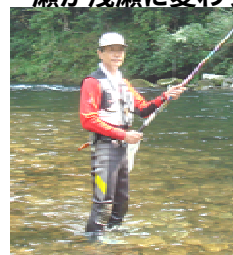
鮎釣りの達人



第4回となりました一丁目の達人シリーズは、「鮎釣りの達人」葉山恒夫さんに登場いただきます。

『私の鮎釣り』

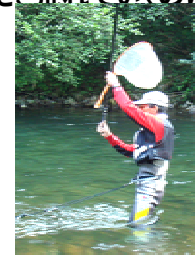
鮎釣りを始めて35年以上になる。それでも倦むことなしに1年365日鮎のことを想わない日はない。鮎は年魚とも云い、前年秋に生まれた稚魚が河口付近の海で越冬後、春に川を遡上して、石のコケを舐めながら成長し、秋になると下流で産卵し、自らは1年という短い一生を終える。その命の儚さが、桜と同様私の心を引きつける。釣法は友釣り、尻尾に針を付けた鮎をオトリとして泳がせ、縄張りを持った野鮎が追い払おうとオトリに突進してくるのが針に掛かるという具合だ。釣れた野鮎は再びオトリとして使う循環の釣りで、これがうまく回るかどうかで1日の釣果が決まってしまう。バラシや仕掛けのトラブルをいかに少なくするかが、ポイントを見る目と同様名人への道だと思いが、永年やっていてもなかなか進歩は難しい。毎年、鮎釣りには和歌山県の古座川に30年通い続けている。流域に町や工場がなく、釣り人少ない山間の清流だ。なじみの民宿で、常連さん達と一杯やるのも楽しみの内。ただその古座も流域の開発で年々石が砂に埋まり大岩の急瀬が浅瀬に変わり、底石びっしりのトロ場が砂底になったりと、荒れていくのは寂しい限りだ。



鮎釣り近景



最高サイズ



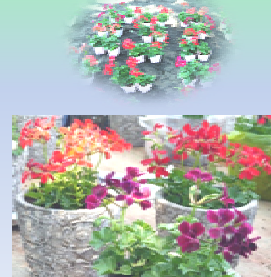
掛かり鮎を抜く



解禁の若鮎

女性部主催 第2回 コンテナガーデニング

稲荷谷公園にて



ハイ 笑顔！

一丁目自治会女性部主催の第2回コンテナガーデニングが、5月23日(水)参加者60名で開催されました。今回は四季咲きのゼラニウムの寄せ植えとなりました。写真の通り、春の日差しうらかな中、皆さまきばきと美しい鉢植えを作り上げました！このところ、散歩していると一丁目の玄関先にこの鉢植えをよく見かけますよね。しかし、女性部のイベントはいつも大盛況です。企画がいいのか、担当者の気配りでしょうか。次回は、年末に「松飾り」を企画中とのこと、これも楽しみです。なお、当日の写真はこの他に一丁目のホームページ

編集後記

梅雨空の続く季節となりましたが、皆さまお変わりありませんか？ 今号から文字を大きくしました。少しは読みやすくなったのではないのでしょうか。まもなく梅雨も明け、子供たちの楽しみにする夏休みですね。「あっと、驚く」「えっと、首をかしげる」「ほんと、心安らぐ」夏の出来事を是非次号の広報誌へ投稿してください。お待ちしております。また、今後広報誌特別号として「我が家のペット」「東西南北 私の故郷紹介」の原稿募集中です。！なお当誌へのご意見ご希望は、広報部 相原 090-8808-4101、kouhou1114@gmail.com または、同部 栗竹・富塚までお願いします。

